

H110		警察学概論	
英名科目名	Sociologie of the Police		
大学名	京都産業大学		
連絡先	教学センター TEL : 075-705-1425 FAX : 075-705-1582		
担当教員	浦中 千佳央 (法学部)		
開講期間	2021年04月19日(月)～2021年07月26日(月) 4講時 15時00分～16時30分(毎週月曜日) 月曜振替1回 2021/05/06 (木)		
開講形態	前期・春学期	開講曜日・講時	月曜日 4講時
単位数	2	履修年次	2年次以上
会場	科目開設校キャンパス		
授業定員			
単位互換生定員	5	京カレッジ生定員	5
試験・評価方法	第1回目講義にて詳しく説明しますが、定期テストはありません。講義を要約した、レポートの提出を3回ほど求め、それにより評価します。		
超過時の選考方法	書類選考		
受講料	科25,000円 聴17,000円		
別途負担費用			
その他特記事項			
パッケージ科目			
低回生受講推奨科目			
講義概要・到達目標			
【講義概要】 「警察とはなにか?」という根本的な疑問を考えるべく、警察と社会の関係について政治学、歴史学、社会学的に解明していく。警察活動そのものの歴史的意味合いと、今日の意味合いを考察する講義である。 法律的な観点から警察を考察するものではないので、注意すること。			
【到達目標】 毀誉褒貶が激しい警察を学問し、警察とは何かを考える。			
講義スケジュール			
【講義スケジュール】 第1回 - 第8回 警察とは何か 社会統制論、D・イーストンの政治システム論という観点から警察の役割・機能に着目し、警察とは何かを考察します。1)警察学の歴史、2)警察の定義、3)警察組織、4)政治と警察、5)社会と警察 第9回 - 10回 歴史の中の警察 ギリシャ語のpoliteiaが語源の警察(police)がどのように発展してきたかを俯瞰し、警察の変遷を考察する。 1)世界の警察、2)日本の警察 第11 - 15回 21世紀、今後の警察 今、法化社会(judicialisation de la societe)、グローバリゼーション、ポストモダン社会の中、世界各国の警察が岐路に立っている様に、日本の警察も岐路に立たされている。こうした中で警察が直面していくであろう問題を取り扱う。1)コミュニティー・ポリシング、2)警察の軍事化・軍の警察化、3)民間警備業			
教科書			
参考書	由井正臣 大日方純夫 『日本近代思想体系 官僚制・警察』(岩波書店、1990年) 広中俊雄 『警察の法社会学』(創文社、2004年) 村山真維 『警邏警察の研究』(成文堂、1990年) 菊池良生 『警察の誕生』(集英社、2010年) 古野まほろ 『残念な警察官』(光文社新書、2016年) 古野まほろ 『警察手帳』(新潮新書、2017年) 古野まほろ 『警察官白書』(新潮新書、2018年) 渥美東洋 『コミュニティー・ポリシングについて』(『警察学論集』第42巻9号、1994年) 警察学論集、警察公論		